

読者のみなさんのページです。  
最終面に掲載している広報クイズの答えと一緒に、気ままなひとこと、ちょっと言いたいひとこと、お待ちしています。

# 井戸端 市民通信

月刊

## 読者の伝言板

敬称略

六月十七日、市立体育館で行われた中央ブロックの保育園の運動会に孫が出るので、応援かたがた見物に出かけました。広い体育館の中をのびのびと走る姿や子どもたちの一挙一動に大笑い。特に最後に全員で踊ったフォークダンスは息もピッタリ合っていて、大変上手でした(小笹浩65歳・川元)  
表紙の子どもたちの笑顔にいつも心がなごみます。みんなすこやかに育ってほしいものです(高橋さと子 47歳・広面)

た。他県で仕事をしている子にも耳に入れておこう(大倉キチ 79歳・泉)

七月二十日・二十一日は土崎港曳山まつり。二十日は私の誕生日。土崎のみなさんからお祝いしてもらっているように嬉しいです。今年もまた、主人と里帰りし、山車を見たり、カスベを食べたり、そして親戚一同に会えるのが今から楽しみです(須田恵子 53歳・横森)

梅雨の中休みかもしれないですが、やっと夏らしくなってきましたね。今年初めてプラントナーに野菜を植えたのですが、トマトとピーマンが収穫できそうに楽しんでいます(茜谷真紀子 30歳・保戸野)

どこへ行ってもごみが目につきます。従姉妹を私のお気に入り平和公園に連れて行くとき「ごみが無いね」と一言。続いて一言、「枯れてしまつて(松がかわいそう)」。思うことはみんな同じですね(立石由美子 63歳・土崎)  
秋田市に引っ越してきて、

## 地域の話 おしえて!!

このコーナーでは、町内や地域のいろいろな話題を紹介していきます。耳よりなニュースがありましたら、広報課までお知らせください。

tel(866)2034 FAX(866)2287

### 泉地区福祉ふれあいまつり 心を一つに、広げる地域福祉の輪

6月28日、泉小学校体育館が開かれた、泉地区福祉ふれあいまつり。11回目となる今年は、「声かけて手をとり渡ろう福祉橋」「街角に見える泉の福祉の手」をスローガンに掲げ、福祉活動の体験や歌、踊りの発表などが行われました。

子どもたちが、「春の小川」「茶つみ」など誰もが知っている曲の合唱を始めると、会場に集まった地域のみなさんも一緒に口ずさむ、微

笑ましい光景があちらこちらで...

泉地区社会福祉協議会会長の小野晋作さんは、「まつりをきっかけに、子どもから高齢者まで、地域福祉活動へ目を向けてくれるかたが増えました。これからもボランティア精神で、互いに支え合う福祉の気持ちを大切に活動していきます」と話してくれました。

最後にみんなで輪になって踊った「泉おんど」が、地域の輪をまた

一つ大きく広げたようでした。



さあ、輪になって踊ろう!



# おしゃべりかわらばん



山王ライオンズクラブから、市立病院の小児科プレイルームと検査科待合室に、たくさんの本をいただきました。ありがとうございました。



明德地区の地域福祉計画ワークショップに参加した渡辺富子さん(手形)

## 身近な課題を話したい

家族を介護して実際に困っていることを、今回お話ししました。生活に直接関係する福祉の計画を、身近な地区ごとに、さらに市民の手で作れるってすばらしいですね。私自身も勉強になります。次の会にもぜひ出席したいです。

## 酒蔵の大きさにびっくり!

以前酒蔵を見学したことがあり、お酒を作る行程に興味がありました。酒蔵の敷地の広さと、貯蔵庫が所狭しと置かれていて圧倒されました。こんなに大きなスケールでお酒を作っているんですね。とっても楽しい経験でした。



秋田の酒づくり学習講座で酒蔵を見学した高橋キエさん(八橋)



中央卸売市場開放デーに来ていた鎌田幸子さん(外旭川)

## 新鮮な食料品が安い!

毎年欠かさず来ています。食料品が新鮮で、しかも安い! とっても良い買い物をしました。土曜と重なったので、人がいっぱい来て活気がありますね。市場は家から近く、なじみがあります。これからも足を運びたいです。



8月2日の市民音楽祭に参加する広面小学校音楽部の古屋結梨さん(左)と小路美幸さん

## 心和むハーモニーを

建都400年記念の音楽祭で、私たち音楽部27人が、市内の小学生と一緒に合唱します。たくさんのお客さんが来ると思いますが、自分たちの力を出し切ってがんばります。パートごとに分かれて、一生懸命練習した成果を聴いてね!

## 孫のゆかた姿が楽しみ

3歳と6歳の孫に、ゆかたを作りました。はやりの原色系、ブルーの生地を仕立てたかわいいゆかたを、夏祭りで孫たちが着てくれるのが楽しみです。作ったゆかたを大事にして、ひ孫の代まで着てくれるとうれしいですね。



ゆかたづくり教室に参加した根本アイさん(泉)

はや四か月がたとうとしていきます。ひとり暮らしにもだいぶ慣れ、たくさんのかたがたに助けていただきながらの毎日を送っています。これから秋田のいろいろな地を探索していきたいと思います(朝田美紀 23歳・八橋)

係からひとこと  
広報あきたに登場する「写真」は、言葉以上にインパクトを与える重要な要素です。これは、広報課職員がカメラを持って取材し、撮影しているものです。しかし、今年三月まで下水道部にいた私にとって、カメラの被写体は、下水管の工事現場。表情が微妙に変化する「人」を撮影するのはなかなか大変です。それでも、私が撮った写真を見た読者から「この写真欲しい」との連絡をいただく、一生懸命撮影して良かったな、と感じます。  
これからさらに精進し、撮影のウデを上げ、もっとたくさん良い写真を撮って、充実した広報が作れるようがんばります!  
(加藤)

## 広報クイズ



市場開放デー。マグロの解体実演

### 6月27日号の当選者

前回のクイズの答えは、問1が約「4」億円分、問2が「編入」合併でした。

全問正解137通(応募総数172通)の中から、安藤涼さん(泉中央五丁目)、鎌田總子さん(保戸野八丁)、工藤聡子さん(飯島穀丁)、清水忠春さん(飯島道東二丁目)、田口哲夫さん(下浜長浜字兜森)、富樫亨さん(御所野元町六丁目)、長谷川文字子さん(新屋朝日町)、福田麻希子さん(八橋鯉沼町)、松橋朝子さん(外旭川八幡田二丁目)、山内広美さん(金足追分字海老穴)の10人のかたに図書券をお送りします。

7月の広報クイズは最終面です。よろしく!!

広報クイズの当選者は、毎回、市政記者室の記者のかたに厳正に抽選してもらっています(広報課)